

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成25年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府福知山市長田野町二丁目21		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役 有本 恵一郎
環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル JIS Q14001:2004/ISO 14001:2004	
適用範囲	武田ヘルスケア株式会社（福知山市長田野町二丁目21番地及び20番地）でのあらゆる活動、製品及びサービス	
導入年月日	<登録日> 平成19年 11月 16日	
認証番号	07ER-674	
基本方針	武田ヘルスケア株式会社は、武田ヘルスケア コンプライアンス・プログラムに則り、かけがえない地球環境を守るために、全ての企業活動において環境への影響を重視し、社会的使命として積極的かつ継続的に、環境を保全し、環境マネジメントシステムを向上させます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p><2013年度目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネルギー（電気・ガス使用量の削減）：2012年度稼働日数当たりの使用量を維持する 省資源（用水使用量の削減）：2012年度上水工水使用量を維持する リサイクル使用の推進（廃棄物のリサイクル率を77%する）：リサイクル率の77%を検討し、リサイクル率を47%にする リサイクル使用の推進（汚泥のリサイクル処分）：年間排出量の1/3量（4ヶ月分）をリサイクル処分する 廃棄物の低減：2012年度廃棄物量の1%削減 法規制の順守（届出の100%順守）：環境関連法規制に関する届出を100%実施する 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> ボイラ給水温度昇温によるボイラの効率的運転・不要照明消灯・空調機運転制限など ブロー水の回収・機器の洗浄水削減・節水の啓発など コピー用紙分別廃棄・脱紙使用推進・廃棄物に関する手順書順守など 分別廃棄表での順守・包装材料のリサイクル・シュレッダグスト、新聞、雑誌のリサイクル・脱汚泥リサイクル運用状況確認など 廃糖衣液の削減・秤量袋の適正化・コピーの裏刷り推進など 届出業務管理表を用いた順守状況確認など 	
目標を達成するための取組の進捗状況	各部門共、全員参加の活動手順書の順守に併せて、部門として不要用役機器の停止・徹夜作業時の不要空調機の停止・空調設備の系列単位運転の実施・試験省略の実施等の電気・ガス使用量削減に取組んだ。また、無駄なコピーの防止、両面印刷の推進、裏刷り紙の使用を推進、廃棄物としては、金属・ガラス瓶・コピー用紙・新聞・雑誌類・ダンボール・試験瓶・包材紙管の継続的なリサイクル処分の実施、廃糖衣液の継続的な削減等を実施した。また、埋立処分していた不燃物の一部（廃プラスチック類）について、2012年4月より有価売却品及びリサイクル処分品に分別し、処分を開始している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	「全員参加の活動手順書」を順守し、全社の環境目的（省エネルギー・省資源・リサイクル使用の推進・廃棄物の低減・法規制の順守）達成のため、各部門共、部門の目的目標を設定し、概ね計画通りに取組んだが、省エネルギー（ガス使用量の削減）及び省資源（コピー用紙使用量の削減）については、目標未達となった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年4月に関連する環境法規制の順守を定期的に評価するため、ISO事務局が「環境法規制等登録表」に従い法規制が順守されていることを評価し、環境管理責任者に報告する。平成24年度の評価結果は、届出の遅れ、遅延等の発生もなく問題ない結果であった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年5月に、社長による環境マネジメントレビューを受ける。環境方針、並びに環境マニュアルに変更はないが、全社の環境目的及び目標の一部に見直し指示があり見直しを行った。 （環境目的及び目標見直し箇所） ・省資源：コピー用紙使用量の削減 → 用水使用量の削減 ・リサイクル使用の推進：グール購入推進 → 汚泥のリサイクル処分 ・法規制の順守：工場排水の水質改善 → 届出の100%順守	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。